

# ○ 牛肉トレーサビリティ業務事業委託費

【令和7年度予算概算決定額 225（232）百万円】

## <対策のポイント>

販売されている牛肉について、牛の個体識別番号が適正に伝達、表示されているかを科学的に確認するため、**牛肉のDNA鑑定を実施**します。

## <事業目標>

DNA鑑定による牛の個体識別情報の正確な伝達の確保（DNA鑑定の一致率100% [令和9年度まで]）

## <事業の内容>

### <背景>

食の安全の確保や家畜伝染病のまん延防止のため、**牛肉トレーサビリティ制度の適正な運用が必要**です。

### <事業内容>

#### 1. DNA鑑定照合用サンプル採取

国内でと畜される**全ての牛の枝肉**から、**照合用サンプル**を採取します。

#### 2. DNA鑑定及び照合用サンプル保管

採取された**照合用サンプル**を保管するとともに、**小売店等**から購入した牛肉と保管している照合用サンプルとの同一性をDNA分析により鑑定します。

### <事業の流れ>



## <事業イメージ>

